

経営比較分析表（平成29年度決算）

山形県 寒河江市

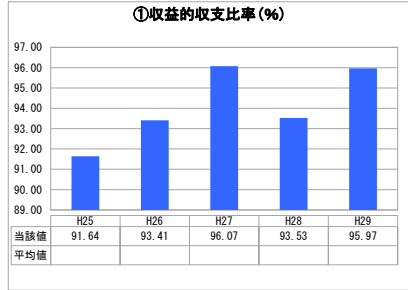
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡ ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	3.57	83.88	3,618

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
41,463	139.03	298.23
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
1,475	0.59	2,500.00

グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 平成29年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



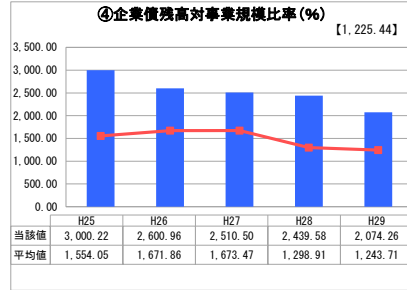
「単年度の収支」



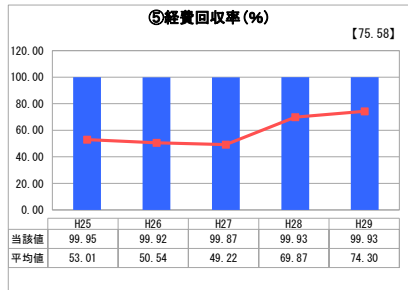
「累積欠損」



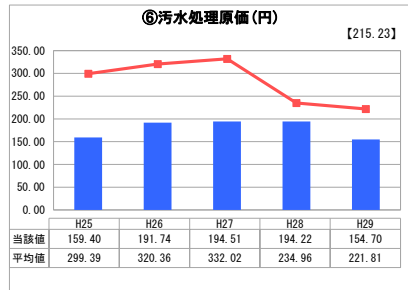
「支払能力」



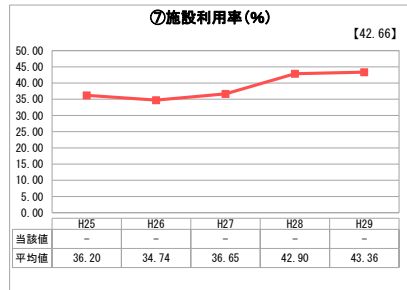
「債務残高」



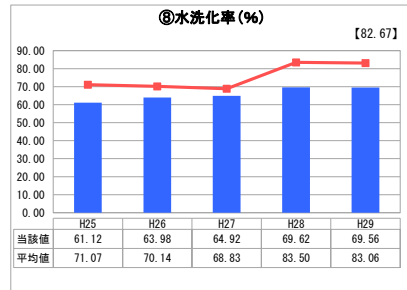
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

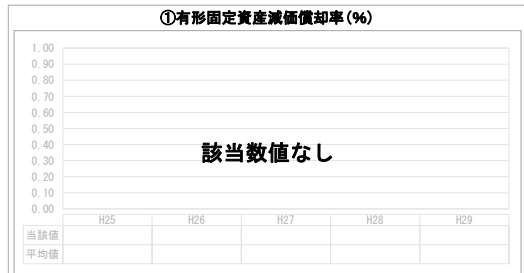


「施設の効率性」

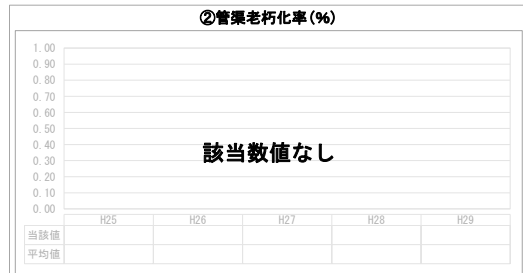


「使用料対象の捕捉」

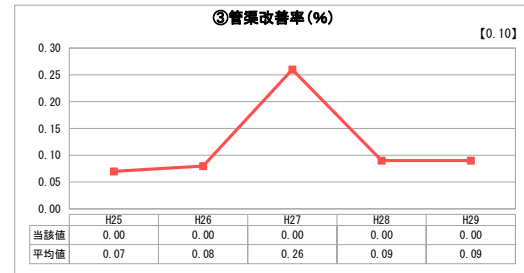
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

当事業は、水洗化率が類似団体平均値を大きく下回っており、一般会計からの繰入金に依存した経営となっていることから、新規接続の普及促進活動を行い料金収入の増加に努めなければならない。
 当事業の対象地域は人口が少なく、料金収入も少ないことから営業収益に対する企業債残高の比率も高い傾向となっている。
 汚水処理経費に関しては、当事業が単独の処理場ではなく公共下水道事業の施設を使用していることから、類似団体平均値と比べて経費回収率は高く、汚水処理原価は低く抑えられている。

2. 老朽化の状況について

当事業においては建設開始年度が平成9年となっており、老朽化は公共下水道事業に比べて進んでいないと思われる。
 今後は、基礎調査を行い、敷設から20年以上経過する管渠に対して長寿命化計画を策定し、更新を行っていく。

全体総括

当事業においては、総収益のうち74%程が繰入金収入となっており、一般会計繰入金に依存した経営となっているため、新規接続の普及促進活動を強化し料金収入の増加が必要となっている。
 また不明水量が増えている実態もあることから調査及びその削減が必要である。不明水量を削減し、汚水処理経費を減少させることで、100%を下回っている経費回収率の改善に努めていく。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。